

北陸鉄道金石線廃線跡と 金石・大野の街並みを訪ね歩く

開催日 令和元年(2019年) 5月18日(土) (小雨決行)

集合 平岡野神社境内(石川県金沢市広岡町2) 午後 1 時集合

※金沢駅西口(金沢港口)から徒歩1分 APAホテル裏

コース 平岡野神社出発(13時10分頃) ⇒旧中橋駅跡 ⇒旧長田町駅跡

⇒長田町バス停(路線バス乗車 バス賃230円) ⇒畝田バス停下車・旧畝田駅跡

⇒旧金石駅跡(現:金石バスターミナル)着(14時20分頃) 休憩

⇒旧金石駅跡発(14時30分頃) ⇒旧三善製紙前駅

⇒旧涛々園前駅(現:金石町小学校) ⇒旧無量寺駅跡

⇒旧大野港駅跡(現:大野港バス停)着(15時30分頃) 休憩、解散

※解散後はフリーですが、有志による金石、大野地区の神社仏閣、名所旧跡めぐりを計画

参加費 無料(路線バスの乗車賃は各自でご負担願います)

主催 明日の金沢の交通を考える市民会議

協賛 石川公共交通を守る会 金沢LRTと暮らしを考える会

後援 金沢市 北國新聞社 北陸中日新聞

【北陸鉄道金石線とは】

金石線(かないわせん)は、石川県金沢駅近郊の中橋駅から大野港駅間を結んでいた北陸鉄道(北鉄)の鉄道路線。旧金石電気鉄道を前身とする軌道法による軌道である。

臨港鉄道としての活用案や金沢城への延伸案もあったが、北陸鉄道の経営合理化と交通渋滞が常態化する金沢市内の混雑解消を理由として、1971年(昭和46年)9月1日に全線が廃止された。

【涛々園とは】

涛々園(とうとうえん)は、かつて石川県石川郡金石町(現:金沢市)にあった遊園地。

1925年(大正14年)金石電気鉄道(現在の北陸鉄道)が開園、運営していた。演劇場や水族館などが設けられ、同時期、浅野川電気鉄道(現在の北鉄浅野川線)が運営する栗崎遊園が近くにあり、競い合うように拡張を行っていた。1931年(昭和6年)松原(後の三善製紙前)～涛々園前間(0.39km)の支線が開業。戦時下である1943年(昭和18年)に閉園となった。

【本行事の目的】

犀川河口に位置する金石は藩政期には宮腰と呼ばれ大野川河口の大野とともに金沢の港町として栄えていました。金沢の中心部と金石地区を結ぶ道路は金石往還(現在の金石街道)と呼ばれていました。

金石線は浅野川線より古く、明治後期に馬車鉄道として開業しました。都心側のターミナルは中橋駅。北鉄金沢市内線(路面電車)の六枚町や国鉄金沢駅と連絡していました。

昨年平成30年から金石の一部町名が復活しました。今回の探訪ツアーでは、起点であった旧中橋駅跡を出発して、金石街道沿いに旧金石線跡や金石、大野の街並みを歩きながら、当時の面影や開業させた先人の苦労を偲ぶとともに、貴重な郷土史の一つとも言える金石線について、その史実を広く平成の人々に伝えていきたいと思っております。

【金石線の概要】

起終点

起点:中橋駅(本線) 松原駅(支線) …1961年三善製紙前駅に改称

終点:大野港駅(本線) 涛々園前駅(支線)

駅数

10駅(廃止時)

運営

開業 1898年(明治31年)2月5日 廃止 1971年(昭和46年)9月1日

所有者

金石馬車鉄道→金石電気鉄道→北陸鉄道

路線総延長

7.2 km (4.5 mi) (本線) 0.4 km (0.2 mi) (支線) …支線は1931年開業、1945年廃止

軌間

1,067 mm (3 ft 6 in)

電化

直流600 V架空電車線方式

【金石線の往時の路線図】

金沢市内線 ←金沢駅前停留所 →六枚町停留所

北鉄金沢駅 浅野川線

金沢駅 国鉄:北陸本線

0.0 中橋駅

0.6 長田町駅

1.8 北町駅

2.7 藤江駅

3.7 畝田駅

4.5 寺中駅

4.9 神社前駅 -1946?

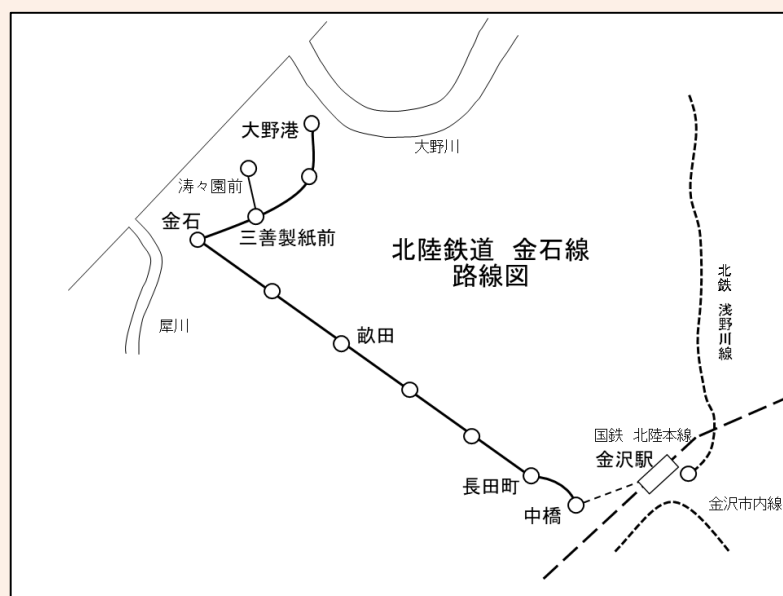
5.4 金石駅

6.0 三善製紙前駅 0.0 三善製紙前駅

0.4 涛々園前駅

6.5 無量寺駅

7.2 大野港駅



参照：私鉄の廃線跡を歩くIII 寺田裕一 JTBパブリッシング
ウィキペディアフリー百科事典

【現地視察のポイント】

また、現在、金沢都市圏で導入が検討されている新しい交通システムの候補路線は都心部から金沢駅西地区、鞍月地区を経て金沢港へと結ぶ計画となっています。今回のツアーにより現在の街並みや交通事情を直接視察し、金石線の廃止になった経緯を検証するとともに意義や価値について再評価を行い、LRT等金沢駅西地区での新しい交通システムの可能性についても考えていきます。

【注意事項】

本行事遂行に際して、当会は細心の注意を払いますが、万一行事中で発生した事故やケガについての責任は負えません。本行事は高齢者にも無理のないウォーキングですが、当日体調不良の方はご遠慮ください。

当日参加される方は、水筒やペットボトルなど飲料水の携行をお奨めします。

●参加ご希望の方は、E-mail またはFAX にてお申し込み下さい。

E-mail : kanazawa5243@cpost.plala.or.jp FAX 076-262-3590

当会ホームページ <http://kanazawa-kotsu.sakura.ne.jp/>